

SATURDAY NIGHT  
FEVER

# 土曜の夜は《ファイバー》しよう!!

イルミネーションのきらめきの中から明日の青春をつかんだトニー!



# サタデー・ナイト ファイバー

ジョン・トラボルタ  
ビー・ジーズ  
カレン・コーニー  
ハリー・ミラー  
ジョセフ・カリ  
ホール・ヘイブ  
トナ・ヘスコ

製作 ロバート・スティックウツ

●撮影 ラルフ・D・ナット ●

●監督 ジョン・バタム ●脚色 ノーマン・ウクスラー ●原作 ニック・コーン (見聞房刊)  
●配給 レスター・ウィルソン ●音楽 ヒー・ニューズ (サントラ盤・ホリドル・レコード)

パナマウインド映画 / CIC配給

カラー作品

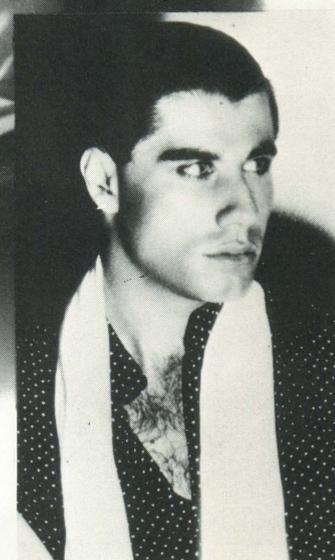
＜カラー作品＞  
**“SATURDAY NIGHT FEVER”**  
 パラマウント映画 CIC配給

★全米を沸かせた話題作がやってきた!!

77年9月にアメリカで公開されて以来、またたく間に全米のヤングの絶大な支持を得て、現在なお興行成績のトップを独走し、超ロングラン・ヒットを続ける話題の映画——それが「サタデー・ナイト・フィーバー」。

ニューヨークの下町。週六日、ペンキ屋の店員として退屈な毎日を送っているトニー、そんなトニーにとって、土曜日の夜だけは別であった。サーチライトと音楽が鳴り響くデイスコで、その若いエネルギーを爆発させるのだ。そう土曜日の夜のデイスコは、若者たちで満ち溢れ、彼らの熱気だけで時間が過ぎてゆく。デイスコ・キング“土曜の夜だけトニー”はそう呼ばれるのであった。

50年代の青春像が「理由なき反抗」アメリカン・グラフィティ、60年代が「イージー・ライダー」「いちご白書」なら、この「サタデー・ナイト・フィーバー」はまぎれもなく、70年代のヤングの肖像画である。音楽とデイスコ・ダンスに彩られた新しい青春——それが「サタデー・ナイト・フィーバー」だ。



★この映画を作ったスタッフたち!!

この「サタデー・ナイト・フィーバー」は、ニック・コロンが書いた「新しい土曜の夜の部族儀式」という小説の映画化で、これを「セルビコ」のノーマン・ウエクストラが脚色し、「ジーザス・クライスト・スーパースター」や「トミー」などの音楽映画を手掛けたロバート・ステイグウッドが製作を担当、監督はイギリスの鬼才ジョン・パグムが当たっている。この映画の最大のハイライトであるデイスコ・ダンスの振付は、サミー・デビス・ジュニアの振付などを担当しているレスター・ウィルソンが指導している。

★全編を彩るヒット曲の数々!!

「サタデー・ナイト・フィーバー」の音楽を担当しているのは、「小さな恋のメロディ」でおなじみのポール・ゲループ、ビー・ジーズである。ビー・ジーズ自身やイボンヌ・エリマン、タバレスなどのビッグ・アーティストによって唄われ、演奏される全17曲のうち、すでに「愛はきらめきの中に」や「ステイン・アライブ」など次々と大ヒット曲が生まれ、ヒットチャートの上位を独走している。

★新しいアイドル・スター誕生!!

「サタデー・ナイト・フィーバー」の最大の話題は、ジョージ・チャキリスの再来と言われるジョン・トラボルタの出現である。今や彼は、全女性のアイドルとなり、週に5,000通のファンレターが舞い込むという。「キヤリー」で映画デビュー。本格的主演はこの映画が初めてだが、彼の多才ぶりをたっぶり見せてくれるまさに期待の大型新人である。



＜キャスト＞

- トニー.....ジョン・トラボルタ
- ステファニー.....カレン・ゴニー
- ホビー.....バリー・ミラー
- ジョーイ.....ジョセフ・カリブ
- ダブル.....ポール・ペイブ
- アネット.....ドナ・ベスコ
- ガス.....ブルース・オーンスタイン

＜スタッフ＞

- 製作.....ロバート・ステイグウッド
- 監督.....ジョン・パグム
- 脚本.....ノーマン・ウエクストラ
- 原作.....ニック・コロン(二見書房刊)
- 撮影.....ラルフ・D・ボード
- 音楽.....ビー・ジーズ(サントラ盤ポリドール・レコード)
- 振付.....レスター・ウィルソン

★君も踊ろう、フィーバー・ステップ!!

この映画には、楽しいステップが次々と登場する。「バス・ストップ」「ドルフィン・ロール」「フリック」「ハッスル」「タング・ハッスル」と5種類のステップは、基本さえマスターすれば、あなたも踊ることができる。さあ!あなたもフィーバーしよう。



★人気ボーカル・グループ

ビー・ジーズ!!



バリー、ロビン、モリスの3兄弟で構成される人気グループである。日本では「マサチューセッツ」や「小さな恋のメロディ」などでなじみ深い。きらめくようなハーモニーの美しさ、メロディの優しさ、言葉の暖かさは、ビー・ジーズ・サウンドの独壇場。日本でも多くのファンを持っている。

★驚異的な記録を作った映画とサントラ盤!!



この映画は公開以来、100日足らずで実に7,000万ドル(約150億円)以上を稼ぎ出し、現在尚興行成績のトップを走る大ヒットを続けている。またこの映画のサウンド・トラック・アルバムも発売以来、80万枚を売り、連続10週ヒットチャート第1位に輝いている。

今夏最大の話題作いよ 7月中旬公開! 特別鑑賞券¥1,000絶賛発売中! (一般¥1,300・学生¥1,100)の処

テアトル銀座 (561) 7938